



岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

令和 4 年 1 月 19 日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

フリガナ ヒラジマケンコウフクシイインカイ
団体名 平島健康福祉委員会 (HKF)
所在地
連絡先
フリガナ
代表者

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	平島・元気で輝き事業
事業実施小学校区・地区	平島小学校区
事業実施回数	新規 ・ 継続 7 回目 / 【平成 28 年度から】
課題	支え合う仕組み作りの構築のために ① 地区の関連団体との連携を深めること ② 若い世代との交流を図ること 将来の事業円滑化のために ① HKFの運営システムの見直しを図ること

事業の目的	平島学区において今後更に進むであろう少子高齢社会に向け、高齢者が元気で社会参加ができ、自立した生活を送ることができるよう、また老若男女が一緒になって自助・互助の考え方を理念に、地域で支え合う仕組み作りを構築していくこと ・ 平島学区に住む高齢者などの健康と福祉に寄与すること ・ 多世代が交流することで将来に向け地域全体で支え合うまちづくりを醸成していくこと
事業の内容・感染防止対策の内容	① 高齢者などが困ったときにお手伝いができる“生活支援サービス”の実施 ・ 現状把握のため7年ぶりのアンケート調査 ・ 現システムの改善点など気づきのための視察研修（井原・笠岡地区） ② 高齢者が歩いて行ける所で交流ができる“井戸端カフェ”の開催 ③ 高齢者の健康づくりや多世代が交流できる“ふれあいサタデー”や“介護予防教室”“研修会”の開催 ④ イベントなど地域の情報共有化のため“HKFニュース”の発行 ⑤ 高齢者の課題について話し合う場“平島小地域ケア会議”の企画運営 ＜コロナ感染予防対策＞ 三蜜を避けてマスク、消毒、換気、手洗いの徹底
期待される成果・目標	・ 本事業の推進により“支え合いのまちづくり”の実現 ・ 多世代のふれあいによりコミュニティの輪が更に拡大すること ・ 一人でも多くの高齢者が元気で輝きながら、地域とつながり社会参加や活動が出来ること ・ 本会の「自助・互助の理念」が地域に浸透し、地域住民のつながりが更に深まること

企画などの工夫	・広く地域の老若男女と一緒に気軽に活動ができる仕組みづくりのために、HKF の運営の中に「サポーター（協力員）システム」を導入 ・介護予防教室（ふれあいサタデイ元気で輝き体操）のステップアップにより「学びと遊びを通して子どもたちが交流する場」を作ること ・新公民館ができたことを活かし、連合町内会および公民館と連携しながら“上道学区での地域活動団体交流会”の提案 ・市内他地区の活動団体との交流に ZOOM を活用 ・井原、笠岡地区との福祉活動に関する情報交換会の実現
協働する団体等	・基本的には平島安全安心ネットワークに所属する各団体（24 団体）及び公民館と協働しながら活動を継続 ・ケースバイケースで上道学区や瀬戸学区の各種団体
事業の情報公開	・ ZOOM ミーティングでの情報交換 ・平島学区においては HKF ニュースの全戸への配布 ・つながる協働広場や市民の広場への投稿 ・各町内会、地域センターや公民館への情報発信やポスター掲示 ・アンケート調査などを通じて SNS の活用による情報発信
学区地区への広がり	・平島安全安心ネットワーク所属団体への HKF としての今後の計画及び方針の共有化を図る ・上道中学校の生徒さんへの、“三世代交流ふれあいサタデイ”のボランティア要請の働きかけをコロナの状況を観ながら再チャレンジする ・近隣他学区の活動団体との交流を通してお互いが切磋琢磨できる環境づくりの支援
前年度からの見直し拡充点	昨年度は感染対策の観点から「三世代交流ふれあいサタデイ」および「HKF 出前研修会」は実現できなかったが、引き続き状況を観ながら再チャレンジの予定 ＜見直し点＞ ・ HKF の運営システムの改善（サポーターシステムの導入） ・「ふれあいサタデイ元気で輝き体操」のステップアップ（子どもたちの集う場をプラス） ・ 7 年振りの「生活支援サービス」に関するアンケート調査に QR コードの活用

次年度以降の予定	① 次年度以後の活動計画 ウイズコロナに対応しながら、これまで進めている5事業はそのまま継続する コロナの状況次第にもよるが、近隣学区の地域活動団体との“意見交流会”企画実施 ②資金の確保について ☐次年度も区づくり推進事業を申請する予定 ☐（2～3）年後には、行政からの助成金がなくても自己資金で活動ができるよう、自立を目指しているが、現状からなかなか難しい状況である 資金確保の具体的な方策：生活支援チケット券の販売や各事業での参加費の徴収、地域の団体や企業などからの協賛金など
その他PRしたい点	・現在、ZOOM活用による情報交換の場は月に1回に減ったが定期的に開催している ・コロナ禍で事業の継続にはいろいろリスクが伴って難しくなっているが、活動は“無理をせず細く長く”“今、動ける人が動く”をモットーに頑張っています

事業スケジュール

HKF 令和4年度活動計画

令和4年1月1日

★ “ふれあいサタデー・元気で輝き体操”は毎週土曜日 10 時～11 時にコミュニティハウスで開催

月	日	場所	内容/担当チーム
4	4/1～ 4/30	平島学区	生活支援サービス(B 班)
	4 月 9 日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(A 班)
	4 月 22 日	平島コミュニティ	第 57 回小地域ケア会議
	4 月 23 日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(B 班)/総会
5	5/1～ 5/31	平島学区	生活支援サービス(A 班)
	5 月 14 日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(B 班)
	5 月 28 日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(A 班)
6	6/1～ 6/30	平島学区	生活支援サービス(B 班)
	6 月 4 日		第 32 回平島健康福祉研修会
	6 月 11 日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(A 班)
	6 月 25 日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(B 班)/定例会
7	7/1～ 7/31	平島学区	生活支援サービス(A 班)
	7 月 9 日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(B 班)
	7 月 22 日	平島コミュニティ	第 58 回小地域ケア会議
	7 月 23 日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(A 班)
8	8/1～ 8/31	平島学区	生活支援サービス(B 班)
	8 月 13 日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(A 班)
	8 月 27 日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(B 班)/定例会
9	9/1～ 9/30	平島学区	生活支援サービス(A 班)
	9 月 3 日	平島コミュニティ	第 33 回平島健康福祉研修会
	9 月 10 日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(B 班)
	9 月 12 日	平島小学校	敬老会・救護 予定
	9 月 24 日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(A 班)
10	10/1～ 10/31	平島学区	生活支援サービス(B 班)
	10 月 8 日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(A 班)
	10 月 22 日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(B 班)/定例会
	10 月 28 日	平島コミュニティ	第 59 回小地域ケア会議
11	11/1～ 11/30	平島学区	生活支援サービス(A 班)

	11月12日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(B班)
	11月22日	富山学区	視察研修(意見交換会)
	11月26日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(A班)
12	12/1~12/31	平島学区	生活支援サービス(B班)
	12月3日	小島の森団地	第34回平島健康福祉研修会
	12月10日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(A班)
	12月24日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(B班)/定例会
1	1/1~1/31	平島学区	生活支援サービス(A班)
	1月14日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(B班)
	1月27日	平島コミュニティ	第60回小地域ケア会議
	1月28日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(A班)
2	2/1~2/29	平島学区	生活支援サービス(B班)
	2月11日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(A班)
	2月25日	木庭氏店舗	井戸端カフェ南古都(B班)/定例会
3	3/1~3/31	平島学区	生活支援サービス(A班)
	3月4日	平島コミュニティ	第33回平島健康福祉研修会
	3/11・3/25	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(B班)
	3月26日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(A班)

☆HKF ニュースの発刊は2月に17号、11月に18号を予定

収支予算書

収入

単位:円

項目	前年度決算又は 決算見込額	予算額	内 容
岡山市補助金	157,500	165,000	／
実施団体負担金	42,500	45,000	会費
参加者負担金	30,000	35,000	サービスチケット代、カフェ参加費など
協賛金	50,000	50,000	／
寄附金、他収入	25,000	25,000	地域企業など
収入合計	305,000	320,000	／

支出

単位:円

項目	前年度決算又は 決算見込額	予算額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	20,000	20,000	コピー用紙、紙コップなど
②食糧費	40,000	40,000	お茶代など
③印刷製本費	30,000	30,000	印刷代(HKFニュース、研修会時資料など)
④燃料費	0	0	／
⑤光熱水費	0	0	／
⑥通信運搬費	60,000	60,000	携帯電話代、切手代など
⑦広告料	0	0	／
⑧手数料	0	0	／
⑨使用料・賃借料	30,000	40,000	会場費(コミュニティハウス使用料など)
⑩原材料費	0	0	／
⑪委託料	0	0	／
⑫工事請負費	0	0	／
⑬報償費	15,000	30,000	講師謝礼(3000円×10回)
⑭保険料	20,000	30,000	／
⑮旅費	80,000	60,000	視察研修時(井原～笠岡バス貸し切り)
小計(①)	295,000	310,000	／
⑯新型コロナウイルス 感染症防止対策経費	10,000	10,000	／
小計(②)	10,000	10,000	／
支出合計(①+②)	305,000	320,000	／

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください。)

補助金(3/4)の概算払いを	希望する ・ 希望しない
----------------	--------------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください。

手持ち金では事業運営が不安だから。

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。